

経営比較分析表（令和3年度決算）

青森県南部町 国民健康保険南部町医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
17,301	4,909	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

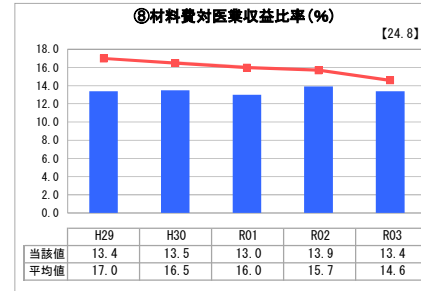
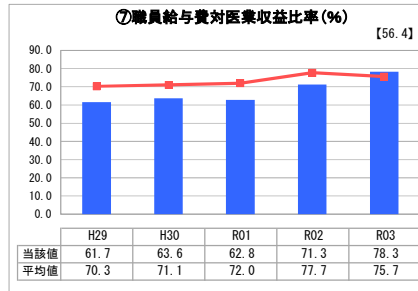
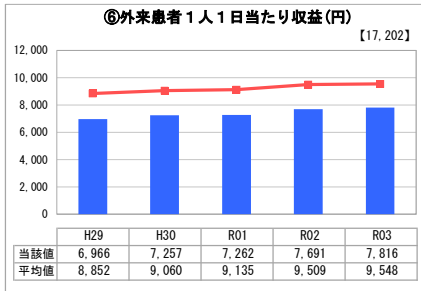
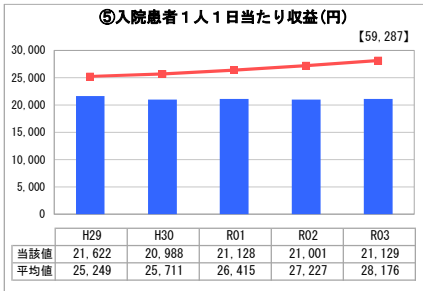
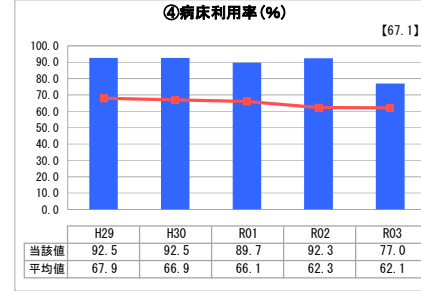
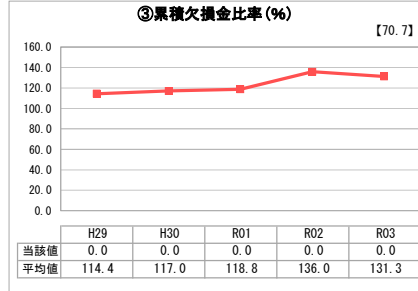
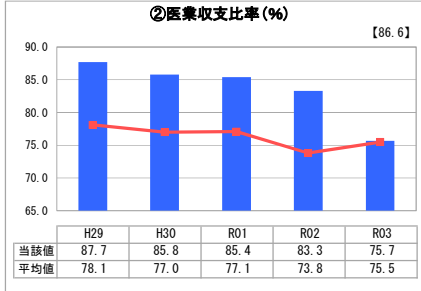
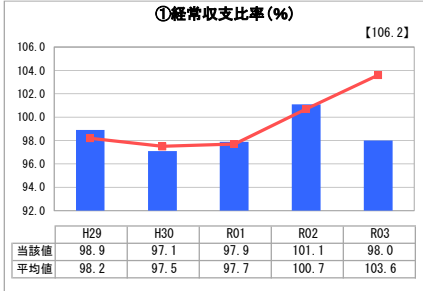
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
26	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	66
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
26	38	64

グラフ凡例

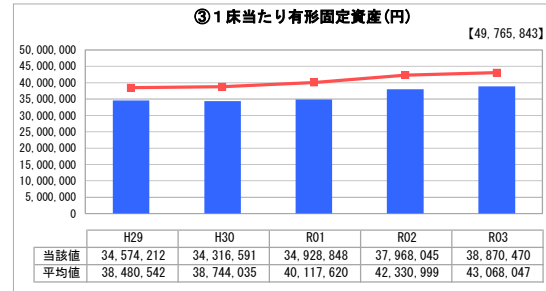
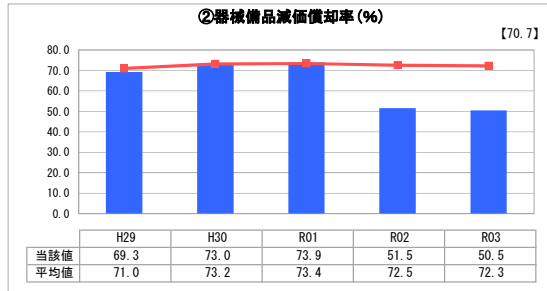
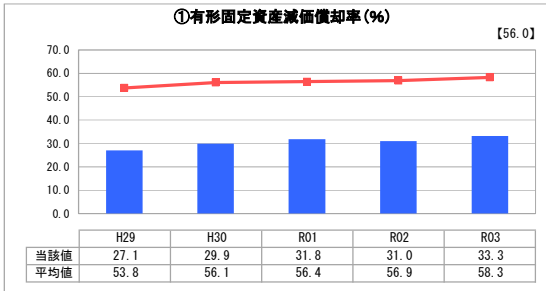
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

一次医療圏における急性期医療や慢性期医療に重点を置き、特殊医療の人工透析やリハビリテーション及び救急医療、在宅・地域医療など、不採算・特殊部門に関わる医療の提供もを行い、公立病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

④病床利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、過去5年間で最も低い値となった。このことから、入院収益が落ち込み、感染症対応のため給費等の費用が増加し②医業収支比率も減少した。感染症対応病床確保に対する補助金収入はあったものの、それ以上に費用が増加したため①経常収支比率は類似病院平均を下回り赤字となった。⑤入院患者1人1日当たり収益は、療養病床が一般病床より病床数が多いことから類似病院平均を下回っている。⑥外来患者1人1日当たり収益は、患者の年齢層が高く、定期受診が多いため、類似病院平均を下回っている。⑦職員給与対医業収益比率は、感染症対応のため手当が増加したことが原因と考えられる。類似病院平均を上回っていることから、適正な職員配置が必要である。⑧材料費対医業収益比率については、類似病院平均を下回っているため、この状況を維持していく。

2. 老朽化の状況について

平成26年度の新築移転に伴い、施設整備及び医療機器の更新を行った経緯があり、建物及び医療器械等は比較的新しいため、全ての項目で類似病院平均を下回っている。
①有形固定資産減価償却率
上記理由による。
②器械備品減価償却率
耐用年数を過ぎた医療器械から、優先度を考慮し、計画的に更新していく。
③1床当たり有形固定資産
上記理由による。

全体総括

令和3年度決算は、収益において感染症対策による影響のため、一般病床において新規入院患者数が減少し、入院収益が落ち込むこととなった。感染症対応病床確保に対する補助金収入はあったものの、費用においてPCR検査等の感染症対応による給費の増加、委託料等経費の増加により、経常収支は赤字となった。
外来診療単価が堅調に推移しているため、入院診療単価について、診療報酬の加算等の分析検討を行い、収益改善に努める。

また、計画的な職員採用、適正な職員配置を行うとともに、委託料の見直し、計画的な設備機器の更新を行い、収支の均衡を図り、健全な病院事業運営に努めていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。